

法政大学第一高等学校同窓会会報

本会は母校の発展を願う卒業生が相互の親睦をはかり、連絡を密にし、互助の実をあげることを目的とする。
(規約第2条)

発行人 大石勝康 (同窓会会長) 2004年(平成16年)4月27日(火) [発行] 第29号
編集人 斉藤利彦 (同窓会副会長) <http://www.5b.biglobe.ne.jp/~Hosei10B/> Tel 0422-20-8151
発行所 法政大学第一高等学校同窓会 〒180-0002 武蔵野市吉祥寺東町3-5-7 Fax 03-3445-5032
印刷 社会福祉法人・東京コロニー 東京都大田福祉工場 発送管理 コミナミ印刷株式会社

自由と進歩

開かれた法政21

自立型人材の育成

同窓会会長 大石勝康



二〇〇四年四月、新年度を迎え会員の皆様にはますますご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。

平成十年に発足いたしました学校主催の「ホームカミングデー」も昨年十一月第六回を迎え高校四十一期から五十五期までのOB諸兄約百名、並びにご退職なさいました教職員十七名の先生方にもご臨席いただき、和気藹々の内に時の経つのも忘れ盛大に懇親会を行うことができました。特に今回は平成元年から十五年までの若い卒業生年代でもあり、先生との会話もま

だ在校生のようなはしゃぎようで大変な盛り上がりでございました。皆様方のご協力に厚く御礼申し上げます。

さて、今、法政大学は清成総長のもと巻頭言をヴィジョンとして掲げ、ダイナミックな改革を進めております。

「特報」清成忠男著「大淘汰時代の大学自立・活性化戦略」

東洋経済新報社発行

『何もせず手をこまねいていては、私立大学はつぶれかねない』

この数年、大きな改革が続いてきた、わが国で最も改革の進んだ法政大学の改革の現場での経験をふまえて、大学再生のありかたについて論じたものであります。

いま、この書が、大学経営に携わっている者のみならず、現在、大学と関係のある教職員の方々、そして、学生からも大きな反響を呼んでおります。

求められる

自立型人材

清成総長は入学案内の冒頭に志願者に対するメッセージとして次のように述べておられます。

『法政大学は、自立型人材を社会に送り出すことを重視している。自立型人材とは、自分で考え、判断し、主体的に自分の運命を切り拓いていく人材である。もちろん、社会にとって有用な自立型人材でなければならぬ。』

いま、日本社会は、歴史的転換期にさしかかっている。二〇世紀に形成された社会システムの多くは、「制度疲労」に陥っている。同時に、新しいシステムの構築にあたって、産みの苦しみに直面している。

こうした状況下で、個人が将来の進路を選択する際に、不確実性が増している。それだけに、個人が自ら考え、判断し、自己責任で意思決定を行うことが重要になっている。もはや組織に

安住し、自ら判断すること避けていけば無難に過ごせるといった時代は終わりを迎えている。

学生のうちからの確かな勤労観や職業観を持ち、自ら主体的にキャリア形成を進めていく人材でないと、これからの活躍は期待できない。

教育も、こうした要請に

積極的に応えなければならない。法政大学は「自由と進歩」という伝統のもとで、自立型人材の育成に取り組んでいる。校歌にも、「進取の気象」がうたわれている。自立して、積極的に社会の進歩に寄与する人材の育成が、法政大学の願いである。

子供の頃からキャリア意

同窓会クラス委員総会

開催のお知らせ

平成十六年度のクラス委員総会を左記のように開催いたします。ぜひご出席をお願いいたします。

日時・平成十六年六月三日(木)

午後六時半開会

場所・法政大学市ヶ谷新棟

ボアソナードタワー25階B会議室

会費・三千元

(当日受付・夕食用意します)

卒業後四年以内のクラス委員は無料です。

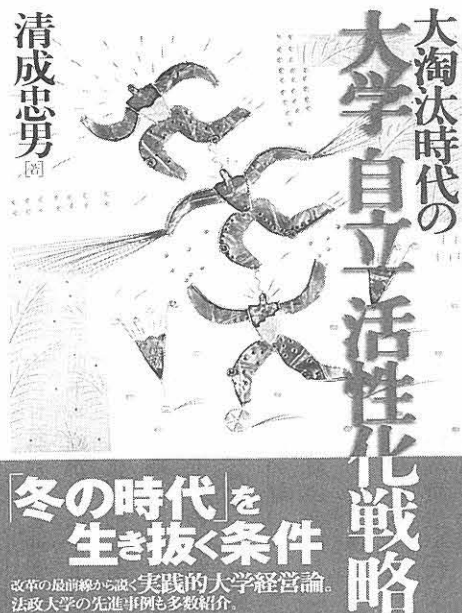
議題・平成十五年度事業報告

決算案の件

平成十六年度事業計画

予算案の件、その他

委員の方は、出欠を同封のハガキにて五月二四日必着でご投函願います。



冬の時代を生き抜く条件

改革の最前線から説く実践的・大学の経営論
法政大学の先進事例も多数紹介
東洋経済新報社 ◆定価 本体700円＋税

識を持つてほしいが、少なくとも大学に入学した段階でキャリア形成を心がけてほしい。

いま、大学間競争は激化しつつある。大学行政も大きく転換しつつある。競争原理が導入されるから、大学にはますます自己責任が要求される。生き残りのためには、引き続き改革を進めなければならない。その意味では、法政大学の改革も道半ばであるといわざるをえない。今後も改革を続けるとしても、新しい課題が山積している。本書では、改革の経験をつまえ、あらためて大学再生論を整理し直した。同時に、大きな変革をとげた法政大学の現状

を多くの人々に知ってほしいというのが、本書を執筆した目的の一つである』と、清成総長は述べております。

私も、本書こそ現代の教育の真髄に触れた必読の書であり、ご父母の皆様にも、



同窓会寄贈垂れ幕

学生の皆様にも、是非、一読をお奨めする書であります。

改革の最前線から説く実践的・大学の経営論。法政大学の先進事例も多数紹介。

【主要内容】

序章・大学再生への戦略

第一章・新時代における大学教育。

第二章・大学の改革。

第三章・法政大学の改革。

第四章・外国の大学における最近の動向。

二〇〇三年六月一九日発行

著者 清成忠男

発行者 高橋宏

発行所 東洋経済新報社

〒一〇三・八三四五

中央区日本橋本石町 一・二一

電話 編集

03-3246-5661 販売

03-3246-5467 振替

00130-516518 定価 一、七〇〇円＋税

同窓会の今後の運営につきまして、地道に次の諸事項の遂行を図ってまいります。

一、組織の強化拡充(会員の掘り起こしと住所の解明)

二、会費の徴収やご寄付による財務の安定化(会費お振込みの際五千円、一万円のご寄付を頂き深謝申し上げます)

三、同窓会会報の定期発刊と内容の充実(少人数の会合でも結構です、

「ご寄稿ください」

今後同窓会の発展に努力を重ねてまいります。所存です。会員の皆様のご支援ご協力を心からお願い申し上げます。

教職員人事異動

運営委員会代表

牛田 守彦

* 新任教員

今年度は、二名の優秀なフレッシュマンを迎えることになりました。よろしくお願ひします。

黒澤 大輔 先生(体育)

日本体育大学卒

中島 宏子 先生(英語)

津田塾大学卒

* 職員人事異動

昨年、事務長の下澤治さんが総長室マイクロ・パソコンテクノロジー研究センターに転出となりました。下澤さんは、一九九九年から一中・高事務長に就任され、四年にわたり、お世話になりました。

代わって新事務長には、保健体育部多摩体育課より鈴木信一さんを迎えました。よろしくお願ひいたします。

東商株式会社

代表取締役 大石勝康

〒171-0043

豊島区要町3-23-12
東商・千川マンション402号
TEL 03-3959-1311

法政大学監事
法政一高同窓会

会長 大石勝康

旧制中学9期(昭和23年卒)

Safety, Clean school and Smart students

安全できれいな学校、頭のいい生徒

一中・高校長 森 田 勉



同窓生の皆様には、常日頃、学校に対し多大なご支援とご協力を賜りまして、誠にありがとうございます。

本校のよさのうち、とくに素晴らしいのは、同窓生の皆様ばかりでなく、生徒、保護者、そして教職員が、一つの精神を共有しているところにあると思います。

それは、温かい人間的な雰囲気の下で育まれた「自主・自律の精神」です。私はこの精神を、「自主性は生涯の宝、自律性はその守護神」と思い、非常に大切にしております。この貴重な精神に浸ることができたのも、先輩諸兄が築かれた伝統のおかげであると深く感謝しております。

ところで、昨年の九月から掲げているスローガンがあります。それが表題の「Safety, Clean school and Smart students (安全できれいな学校、頭

のいい生徒)」です。

「Safety (安全)」という意味は、生徒や皆様を不審者の侵入や犯罪行為から守り、本校の自由な精神を堅持するために必要であると考えてのことです。皆様が来校される際に、ご記帳や名札をつけていただくなど、ご協力を願うこともあろうかと思っておりますので、承知おき下さい。

「Clean (きれいな)」という面では、クリーンなイメージの学校を目指して、今年四月より、学校内全面喫煙禁止を実行致しました。この点につきましても、皆様のご理解とご協力をお願いしたいと思います。

「Smart students (頭のいい生徒)」とは、「自立した人間」つまり、「どんな事柄に直面しても真正面から立ち向かい、未知の問題の本質を探り、仮説を立て、努力を惜しまず粘り強く取り組み、仲間と共にきちんと解決できる、創造力に富んだ人物」を目指すことであります。そして、その実現のために、今や

るべきことは何かを、常に自問自答し、努力を積み重ねていく所存であります。これらのスローガンを達成させるためには、皆様のお力が必要です。本校の新たな伝統のページづくりに積極的に参画していただければ幸甚と存じます。

最後に、誠に残念なことではありますが、昨年九月、化学の高橋信一先生がご逝去されました。高橋先生は、私が本校に理科教員として採用された際、理科主任を務めていらつしやいまして、個人的にも大変お世話になった方でした。この場をお借りし、謹んで哀悼の意を表すとともに、心よりご冥福をお祈り申し上げます。



プロジェクターでの伊東先生の講演

英雄の死は世界を変えるか ～現代医学からの考察～

平成15年5月24日、法政大学第一中・高等学校記念会館ホールにおいて、東京医科大学学長伊東洋先生による講演が催された。主催が法政大学第一中・高等学校・法政文化講座共催で、後援が武蔵野市教育委員会ということ聴衆は一高関係者、PTAの皆様、武蔵野市民の方々と多彩だった。同窓会も大石会長はじめ12名の役員が拝聴した。

講演内容は『歴史的に名をはせた英雄、武将は多いが、その命運を分けた原因疾患(疾病)は明確にされてきている。もし、英雄たち

が現代の優れた医療の恩恵を受けることが出来たならば、歴史は一変し、世界は想像できない方向に動いていたかも知れない。しかし、歴史には、『もしならば』という言葉はない。過去の文献を調べ、鎌倉幕府の源頼朝と中国の三国志を彩る曹操の人間像と死について医学的に考察し、現代の生活習慣病について言及する。』ということで、プロジェクターを使ってわかりやすい、歴史ロマンあふれるお話であった。最後に医療に関する質疑応答もあり大変有意義な講演であった。



二〇〇四年度入試を終えて

入試委員 長谷川 崇

二〇〇四年度入試は、一月二十二日に高校推薦入試、二月一日に中学第一回入試、二月三日に中学第二回入試、二月十日に高校一般入試の計四回を実施しました。

少子化の影響や長引く不況、さらに改革を推し進める公立学校の巻き返し策など、私学全体を取り巻く環境は依然として厳しい状況にあります。そのような状況の中で、本校は積極的に入試改革を行い、中学・高校入試ともに成果を出しています(表1参照)。

中学では、昨年から入試を二回実施しています。二月一日の第一回入試では、「諸活動に積極的、意欲的に取り組み、リーダーシップを発揮できる生徒」に入学してもらうため、従来型の学力試験を行わず、作文と面接のみで選抜を行いました。また、二月三日の第二回入試では、現在四科が主流となっていることを踏まえ、昨年度から引き続き「二科四科選択型」の筆記

試験を実施しました。いずれも高倍率となりました。

しており、特に第二回入試の四科型受験者数を大きく伸ばしていることから、入試制度の浸透が順調であったと考えられます。

高校では、昨年は公立中学校が絶対評価を導入した影響もあって出願者数が大幅に増加しました。今年はその影響で受験者数が減少するのではないかと不安もありましたが、推薦入試では出願資格が厳しくなったにもかかわらず、一昨年

以上の受験者を集めることができませんでした。一般入試においても、本校を第一志望とする受験生を対象としたBコースの占める割合が多くなっています。

今後よりよい入試制度を目指し、PR活動や広告・宣伝をさらに積極的に行っていくことで、本校を第一志望とする生徒をより多く確保していきたいと考えています。これらの活動の中で一番効果が大きいのは、実は友人・先輩といった身近な卒業生や在校生から薦められるというケースです。受験時に提出してもらっているアンケート結果などが

からも明らかになっています。こうした動向を受け、数年前から『在校生・卒業生子弟を大切にしたい入試』も始めています。

これからは是非一人でも多くの『法政ファン』を作るために、同窓生諸兄におかれましては、ご指導、ご鞭撻、ご協力のほどをお願いしたいと思います。

なお、法政大学への推薦状況(表2参照)につきましても、あわせてご報告致します。

表2 2004年度 法大推薦学部・学科別一覧

学 部	学 科	人 数		
		第一部	第二部	計
法		43	5	48
	法律	29		29
	政治	14	5	19
文		31		31
	哲	2		2
	日本文A	8		8
	日本文B	2		2
	英文	6		6
	史	3		3
	地理	6		6
	心理	4		4
経済		28		28
	経済	20		20
	国際経済	8		8
社会		42		42
	社会政策科	11		11
	社会	16		16
	メディア社会	15		15
経営		43		43
	経営	19		19
	経営戦略	10		10
	市場経営	14		14
国際文化	国際文化	10		10
人間環境	人間環境	4		4
現代福祉	現代福祉	7		7
キャリアデザイン	キャリアデザイン	10		10
工学部		27		27
	機械工	7		7
	物質化	4		4
	情報電気電子工	3		3
	電子情報	1		1
	システム制御工	0		0
	都市環境デザイン工	2		2
	建築	5		5
	経営工	4		4
	システムデザイン	1		1
	情報科	6		6
	エレクトロニクス	0		0
	デジタルメディア	6		6
	計	251	5	256

卒業予定者 264名

2004.2.17現在

第一高等学校 学務担当

表1 2004年度 中高入試状況

	中学			高校			
	第1回	第2回	合計	推薦	一般		
					A	B	C
募集人員	15	90	105	73	74		
出願者数	100	496	596	123	62	224	1
受験者数	90	378	468	123	55	221	1
合格者数	15	131	146	72	12	84	1
入学予定者数	14	98	112	72	6	83	0

高校入学予定者数は法政一中卒業生113名を含めると274名になります。

平成15年度 事業報告書

総務委員長 室山 肇

平成15年)

- 4月7日 中・高入学式に同窓会役員参列、同窓会会報発行
打ち合わせ
- 5月10日 同窓会・会報第28号の一部をカラー印刷で発行
- 5月24日 記念館にてPTA主催、「現代医学からの考察」
東京医科大学伊東洋学長講演
同窓会役員参加、終了後役員会
- 6月6日 一高クラス委員総会
ボアソナードタワー25階にて51名出席
14年度事業報告・会計報告、15年度事業計画・予算案承認
閉会后懇親会
- 6月17日 法政一中ラグビー部 祝 関東大会出場
法政一高ゴルフ部 祝 関東大会出場
2枚垂れ幕寄贈
- 6月23日 同窓会役員会議、会報・名簿の件で小南印刷㈱と
打ち合わせ
- 7月26日 法政大学校友連合会
代表議員会議が赤坂プリンスホテルで開催

- 付属校同窓会として、大石会長・鈴木副会長
・斉藤副会長が出席
- 9月28日 学校プラタナス祭見学後、同窓会役員10人が会議
来年の同窓会会報は4頁増の12頁とし、豊富な内容
を目指す
- 10月11日 福島善哉同窓会役員が永眠
大石会長がお通夜に参列
- 10月25日 福岡市で法政大学校友連合会「卒業生の集い」
大石会長(大学監事)・鈴木副会長(同窓会役員)川
端理事・高村後援会会長が出席
- 11月30日 学校主催の第6回ホームカミングデー(平成元年か
ら15年卒)を通信費補助などで協力
同窓会役員の近江養氏が「リーダーシップとフォ
ロワーの責任」で講演

(平成16年)

- 1月17日 法政一高同窓会役員・大学校友連合会の新年会が
新宿のハイアットホテルにて行われ30人が出席
- 1月21日 一高スキー部が大会出場で祝い垂れ幕を寄贈
- 2月14日 法政大学付属校同窓会役員懇親会を女子校が主催
品川プリンスホテルにて75名参加
一高からは17名参加
- 3月8日 新卒クラス委員に卒業後、同窓会への協力方法な
どを説明
- 3月9日 法政大学第一高等学校卒業式に役員が参列
- 3月18日 法政大学第一中学校卒業式に役員が参列

住所、勤務先の変
更、改姓名等が
ありましたら、必
ず学校の同窓会係
(住所・電話番号・
FAX番号・URL
は一面タイトル
下に掲載)までハ
ガキ等にて連絡く
ださい。

また、同窓会ホー
ムページの「変更
届のページ」より
アンケート形式で
簡単に届け出が提
出できますので、
こちらをご利用く
ださい。

◎は学年代表

6組	5組	4組	郎	3組	2組	1組
湯伊加江市	藤藤川川	澤藤川川	祐吾有洋健僚	二多佑史太	◎原佐吉藤	美天野拓眞広雅
						濃濃部精治

新高校56期
委員一覧

ご住所(電話番号・会社名)の変更届を忘れずに なるべくFAXをお願いします。

届出先 同窓会事務局または同窓会ホームページ(アドレスは会報1ページ参照)宛

1993年、99年に同窓会名簿を発行しましたが住所不明者が大勢います。同窓会名簿の改訂版発行を検討していますので最新のクラス名簿をお持ちの方は、同窓会事務局宛にお送り下さい。又、会報に同封の「近況報告書」は、皆様の現況や在校中に所属されていた部活名などをお知らせして戴く名簿改訂作業の一環です。

郵送、FAX、メールにて報告方ご協力をお願い申し上げます。

名簿編集委員一同	委員長	高8期	赤沼 啓二郎		
	副委員長	高6期	佐藤 俊男	高10期	立沢 洋光
		高17期	田辺 勉	高37期	塩入 成実

法政一高同窓会 平成14年度収支決算書

(14.4.1~15.3.31)

15.6.6

収入の部 (単位 円)					
科 目	項	予算額	決算額	差 異	備 考
繰越金		7,493,680	7,493,680	0	
会 費		3,390,000	3,160,240	229,760	
(イ)	入 会 金	810,000	813,000	△ 3,000	271名×3千円
(ロ)	新入部年会費	540,000	542,000	△ 2,000	271名×2千円
(ハ)	年会費・寄付	1,800,000	1,593,240	206,760	既会員約700名より振込等
(ニ)	その他会費	240,000	212,000	28,000	付属校同窓会他出席者より
雑 収 入		100,000	9,269	90,731	預金利息、名簿等売上
繰入金		1,700,000	438,000	1,262,000	総会費56名分
	繰 入 金	1,700,000	438,000	1,262,000	
	計	12,683,680	11,101,189	1,582,491	

(単位 円)

支出の部 (単位 円)					
科 目	項	予算額	決算額	差 異	備 考
経常費		1,340,000	1,822,323	△ 482,323	
(イ)	学校協力費	500,000	581,948	△ 81,948	ラグビー部優勝等特別
(ロ)	会 議 費	180,000	270,790	△ 90,790	校友連合新年会11万円特別
(ハ)	組織活動費	200,000	303,042	△ 103,042	附属校同窓会懇親会参加費等
(ニ)	印 刷 費	20,000	0	20,000	学校のコピー-活用で0
(ホ)	通 信 費	50,000	113,889	△ 63,889	諸 郵 送 費
(ヘ)	人 件 費	300,000	300,000	0	事務局員手当(年額)
(ト)	事務用品費	40,000	3,862	36,138	パソコン用品がなかった
(チ)	雑 費	50,000	248,792	△ 198,792	120年募金10万円特別
事業費		3,640,000	2,378,573	1,261,427	
(イ)	会報発行費	1,800,000	1,610,188	189,812	第27号同窓会報
(ロ)	委員総会費	240,000	213,780	26,220	14年度クラス委員総会費
(ハ)	総 会 費	1,600,000	554,605	1,045,395	総会懇親会と景品代
予備費		50,000	0	50,000	
	予備費	50,000	0	50,000	
小 計		5,030,000	4,200,896	829,104	
次年度繰越金		7,653,680	6,900,293	753,387	
合 計		12,683,680	11,101,189	1,582,491	

法政一高同窓会 平成15年度収支予算書

(15.4.1~16.3.31)

15.6.6

収入の部 (単位 円)			
科 目	項	予算額	内 訳
繰越金		6,900,293	
会 費		3,120,000	新入会員予定264名と既会員分他
(イ)	入 会 金	792,000	新卒業生入会金 264名×3千円
(ロ)	新入部年会費	528,000	新卒業生年会費 264名×2千円
(ハ)	年会費・寄付	1,600,000	既会員より 約700名より振込等 予定
(ニ)	その他会費	200,000	役員会・委員会等出席者 負担会費 50名×4千円
雑 収 入		100,000	預金利息、テレカ等売上
繰入金		50,000	
	繰 入 金	50,000	
	計	10,170,293	

支出の部 (単位 円)			
科 目	項	予算額	内 訳
経常費		1,340,000	
(イ)	学校協力費	500,000	学校主催行事、生徒部活動援助、卒業生贈り物等
(ロ)	会 議 費	180,000	役員会、各委員会、名簿編纂等
(ハ)	組織活動費	180,000	付属校同窓会、新同窓会委員懇親会、同窓会参加費等
(ニ)	印 刷 費	20,000	決算、予算、一般会費資料の印刷費
(ホ)	通 信 費	100,000	会議開催通知、資料送付等
(ヘ)	人 件 費	300,000	事務局員手当
(ト)	事務用品費	10,000	諸事務用品
(チ)	雑 費	50,000	慶弔費、振込手数料、打合せ食料等
事業費		1,880,000	
(イ)	会報発行費	1,700,000	第28号同窓会報 (郵送費含む)
(ロ)	委員総会費	180,000	委員総会開催費 (45名×4千円)
予備費		50,000	
	予 備 費	50,000	
小 計		3,270,000	
次年度繰越金		6,900,293	
合 計		10,170,293	

法政一高同窓会

副会長 岩村元雄

高校8期 (昭和31年卒)

法政一高同窓会

副会長 鈴木嘉能

野球部OB 高校2期 (昭和25年卒)

法政一高同窓会

総務委員長 室山肇

高校3期 (昭和26年卒)

法政一高同窓会

財務委員長 樫原實

高校2期 (昭和25年卒)

校友連合会が発足して1年半、連合全国支部と同様に付属校同窓会組織に対する期待も日増しに大きなものになりつつあります。一高として連合会に3委員が参画・運営し「新年会・総会・卒業生の集い・連合会報1号～3号」に携わってきました。その中、連合会運営費として全国各支部、付属校に対して分担金負担に関する問題が課せられました。

一高同窓会としては、現在年会費減少の折りですが、二高と連携しながら対応しなければならぬと考えています。

16年度の「卒業生の集い」を神奈川大会として10月30日行われることに決まり、二高が付属校代表として主催する事になりました。一高にも協力要

法政大学校友連合会 大学から高校卒業生まで 同窓会副会長 鈴木嘉能

請あり相川欣運氏が選ばれました。

一高の皆様、この機会に是非連合会の門をたたいてみてください。いままで経験できなかった新しい世界が開けます。新しい仲間との出会いが人生に潤いをもたらしてくれます。

★入会をご希望の方は右記入会申込書に記入の上切り抜いてハガキに貼り、事務局宛お送りくださるか、またはFAXしてください。お問い合わせもお気軽に……

〒102-0073 千代田区九段北3-2-3
法政大学九段校舎4F

法政大学校友連合会事務局

TEL 03-3264-1831

FAX 03-3264-4770

なお、この入会案内はホームページ

<http://www.hoseinet.com>

および携帯電話のiモードからも接続できますiモード用ホームページ

<http://www.hoseinet.com/i/>

入会申込書

法政大学校友連合会に入会したいので
会報と郵便払込用紙を送付ください

平成 年 月 日

住所 〒

氏名

TEL

FAX

付属校名

卒業年 昭・平 年 月 卒



前列右から犬童監督
橋田プロデューサー
後列中央森田校長

五月八日封切り
劇場用映画

山崎努、宇津井健、青島幸男らが出演する東映配給劇場用映画「死に花」の一高向け制作発表会が記念館会議室で行われました。校長・広報担当教員・PTA広報・学生広報・同窓会広報が出席し、お話を伺いました。

プロデューサーの一人である橋田寿宏氏と犬童一心監督が偶然にも昭和54年一高卒ということで、一高にお越しになったわけでした。橋田氏が学生広報紙「鈴掛」の名付け親ということで、学生広報諸君は感激もひとしおでした。

犬童監督は代表作に「ジョゼと虎と魚たち」があり、CMなどの制作でも活躍中です。紙面には書けないような、俳優さん達の裏話を伺いました。

一高が付属校ということで受験勉強にとらわれず、また、本校のモットーでもある自主・自律という精神のもと、「自由な発想」で物事を捉えているというのが、お二人の印象で、最後に犬童監督ご自身の体験から「先生が思っている以上に生徒は恩師に影響されている」ということで締めくくられました。

法政大学第一高等学校同窓会広報

よき師

よき友

つどひ結べり

広報は同窓会報と同窓会ホームページを担当しています。住所変更があった場合はホームページからアンケート形式で簡単に変更届が提出できます。

URL <http://www.5b.biglobe.ne.jp/~Hosei10B/>
または「法政大学第一高等学校同窓会」で検索

副会長(広報担当) 斉藤利彦 (昭和31年卒)
広報委員長 手塚祥司 (昭和42年卒)
広報副委員長 伊藤忠臣 (昭和51年卒)

〒167-0022 東京都杉並区下井草5丁目2番6号

井荻スポーツ社

TEL 03(3390)9235, (3395)0425
FAX 03(3394)0731, (3390)6093



映画「死に花」

5月8日(土)～
全国東映系公開
法政一高出身
犬童一心監督作品
山崎努/青島幸男
谷啓/藤岡琢也
宇津井健

商業3期同期会

法政商業学校3期生同期会が平成15年10月6日森田勉校長先生をお招きしてボアソナードタワで行われました。

幹事の岡本様より、会報の取材に来て欲しいとのこと依頼があり午後2時30分開会のところ20分前に到着したにもかかわらず、多数の方がすでに出席というご熱心さでした。

まず始めに尾山治様の開会の辞があり、商科3期の会長に西村常治様選出の後、ご挨拶があり、つづいて、森田勉校長先生のお話と、岡本弘幹事様の事務連絡のあと、岩手県水沢市から新幹線で3時間かけて駆けつけた菅野高信様より乾杯のご発声があり歓談となりました。

途中会長の西村常治様とボアソナード先生の胸像を拝



見し、撮影させていただきました。

お集まりの皆様楽しんで集まれる秘訣をお聞きしたところ、

I 健康なこと
II 社会的に地位が安定していること

III よい奥様に恵まれていること
だそうです。

童心に帰った皆様の和気藹々としたお姿を拝見して羨ましいかぎりでした。最後に校歌を斉唱し再会を誓いあいました。

(取材・手塚)

錦 交 会 商業4期同期会

今年平成十五年に、吾々は母校法政大学商業学校を卒業して満六十年となり、齢も喜寿を迎えた。戦時中との事で繰り上げ卒業となり、前年昭和十八年十二月卒業となったのである。

顧みると、吾々は昭和十四年に商業(商業学校は昭和十三年甲種夜間商業として創立、昭和十一年昼間部第一本科として設立され、同時に中学校が設立)の四期生として入学したのであ

るが、入学の年の九月には、はや習志野にて野営軍事教練に駆り出され、配属将校に厳しく鍛えられた。昭和十六年大東亜戦争勃発するや戦時色は益々濃くなり、学生帽は戦闘帽に、勤労奉仕も強化された。昭和十八年繰り上げ卒業後の母校は翌年に生徒募集中止、法政大学第三工業学校と改称し、二十年三月には後輩の五・六期生は合同卒業となった(従って六期生は四年卒)、五月には校舎が焼夷弾を浴び、八月終戦となった。翌年三月法政大学商業学校第一・二本科の旧称に戻る事となり、二十三年四月新学制による法政大学第一高等学校となったのである。

従って、吾々のクラス会は卒業後四年目の昭和二十二年八月第一回を開催、第二回目に担任の恩師故河村幸造先生により四期二組(シキニ)であった事から「ニシキが交わる会」Ⅱ「錦交会」(キンコウ)と命名されて、今日迄連綿として継続されて来た。ここ数十年毎年秋(隔年一泊旅行)に開催し旧交を温めてはいるが、卒業時には五十九名であったのに、現在は生存者二十一名、死亡者十五名、戦争のため消息不明二十三名となつて居り、クラス会の出席者も病床にある者も居り、半数程となり寂しい限りである。ただし元氣な顔で貴様と俺を確かめ合う事が如何にお互いの元氣付けとなつて居るか、計り知れないものがある。

今年のクラス会は一泊年ではないので、吾々が卒業した当時の校舎の跡地に新設された、大学のボアソナードタワの二十五階にある「スタッフクラブ」で、十一月七日六十周年記念クラス会を盛大に開催した次第である。卒業時の校歌にある「窓の外濠」の風景を偲び、今の高層からの外濠を含めた展望を眺めながら、歓談に耽つた楽しい一時を持つことが出来た。卒業して六十年、齢も喜寿を迎え、母校の益々の発展を目にして、感無量なものが彷徨として湧くの

(錦交会岡本・黒塚記)



故寺本隆雄先生、故長島和太郎先生の面影に捧げる

―法政一高の華の時代を築いた―

新井義夫 昭和26年卒

すぐに書きたい原稿が遅れて、新井のことだからと許して頂いて半世紀前の夢

もりが、結局「生物部」に落ち着いた。

といつまでも鮮烈な記憶を残してくれた両先生に感謝をこめて捧げます。テラカン、ライオンと共にあだな

き、漱石と草枕の文章に惚れて、我々に人生の生き方を教えてくれたと卒業後一層深い実感となった。

老いを責む

に象徴される毎日に接していた。戦後の混乱期に月謝の使途公開をと生徒の声に「マッカードサー総司令部の指令で禁じられている」と

渥美の海や波荒らしテラカン級会東海紀行、1998年盛夏。

寺本先生の一声に昨日までは天皇陛下だったのになぜ、と思いながらもとにかく新知識に飢えていた我々にやる気を起こしてくれた。吉祥寺の古い木造校舎に移つて、床にあぐらの寺子屋教室であつたが不思議に活気に溢れていた。

いつも戴く葉書の最近の記憶に残った秀句である。

「諸君は」と呼んでくれた生物の長島先生は新鮮だった。長い間の医科大学での教授法そのものであつた。

夏休みの初めに希望者だけで夏目漱石の「草枕」の講義を聞いた。

先生は和歌、俳句、が好

先生は和歌、俳句、が好

先生は和歌、俳句、が好

先生は和歌、俳句、が好

先生は和歌、俳句、が好

先生は和歌、俳句、が好

先生は和歌、俳句、が好

先生は和歌、俳句、が好

先生は和歌、俳句、が好

れた特製葉書も大切に保存している。法政一高は中途半端な進学校にならず、大きく世界に伸びて欲しいと心から願っている一卒業生です。

シリーズ 活躍する一高OB〔5〕 ——農業を楽しむ—— 山本俊雄氏

まろやかなグラス一杯の地下から湧き出た天然水。これが昭和二十三年卒(旧制中学九期)の山本俊雄さんからのご挨拶でした。それもそのはず、お隣さんがサントリー白州工場で、そこで採れた南アルプスの雪解け水が「サントリー天然水」として製産されています。

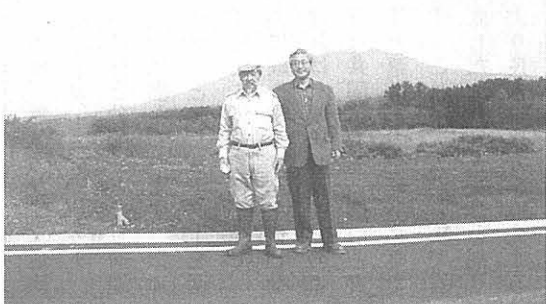
シシや野生の猿が出没するそうです。その後、都会を出て農業に取り組みたいと思われている方も少なからずいると思いますが、生半可な気持ちでは勤まりそうもありません。冬の厳しさは大変なものだそうです。

今回は山梨県北巨摩郡白州町で熟年農業を楽しんでおられる山本俊雄さんを訪問しました。山本俊雄さんは神田で洋服の仕立屋さんを営んでいました。というわけで、農作業服とは一味も二味も違う、着心地のよさそうなオシャレな装いで現れました。

手作りの大きな池があり休憩小屋もあるお庭、八ヶ岳を望む農業団地、数百羽もいる鶏小屋を案内していただきお別れしました。帰路の昼食にはもちろん山梨名物の南瓜の入ったほうとうを食べてきました。

(取材・手塚)

(写真左が山本俊雄氏)



第56回プラタナス祭を終えて

教員実行委員長 矢内 祐介



去る9月27・28日の2日間にわたり、第56回プラタナス祭が行われました。本年の特徴は、生徒実行委員会の高い意識のもと、「自律」ある活動をめざし落ち着いた雰囲気のもとで行われたことです。これまでで

「笑」のもと、「笑い」をテーマに中学生らしい感性を生かした活動が行われました。クラス企画ではテーマに基づいてお化け屋敷や映画などお客さんと一緒に楽しめる企画作りがなされました。また中央企画のオープニン

「baby」のもと、「プラタナス祭のあり方を見つめ直し」、新しい試みを各所で取り入れようと、早期から妥協せずに議論を重ね、夏休みも含めて熱心に準備が行われました。中央企画では、一高生全体や幅広いお客さんにメッセージを投げかけたり(オープニング・中庭企画・後夜祭)、またモラル向上をテーマに掲げたり(南庭企画)するなど、趣向を凝らした青年らしい雰囲気企画作りへとレベルアップできました。またホームページ製作やスローガンを図案化したポスター製作などの広報活動でも地道な取り組みが光りました。また、各クラス企画でも、チアリーダー、ダンス、映画の製作・上映、ショーの演出など、お客さんを驚かせるような創造的なものが目立ちました。全員参加を目標にしてクラスの力を結集し、高い達成感が得られたよう

グ・後夜祭でも、ダンス・お笑いコンテスト・劇などが企画され、会場全体が笑いの一体感で包まれました。チャリティーバザーはイラク復興支援をテーマに行われました。

上に、自分たちの課題を見つめそれを乗り越えるべく熱心な活動が展開されました。その成果もあつてか、晴天にも恵まれ七千人以上の来校者を迎え、成功のうちに終了しました。笑

中学ではスローガン「笑

今年も9月25・26日に第57回プラタナス祭が行われます。生徒たちの輝く姿を是非一度ご覧下さい。多くの方々のお越しをお待ちしております。

リーダーシップとフォロワーの責任

(ホームカミングデー講演より抜粋)

近江 養(29期)



「一人の人間が他の人間からの心からの服従、信頼、尊敬、忠実な協力を得るようなやり方で、人間の思考、計画、行為を指導でき、かつそのような権利と義務を負えるようになる技術、科学、天分」をリーダーシップと定義しています。その資質とは①志、目的、プロセス、展望に自信をもちそれを持続する意志。②不眠不休で対処できる肉体の耐久力。③一喜一憂しない自己制御・表情の統制の能力。④原理原則をもち、追いつ

められても虚偽を言わない倫理観を維持する知力・見識・胆力。⑤自分の言葉で説明する説得力。⑥立場を自覚した端正な姿勢、美しい挙措動作。⑦芸術や文化の素養。⑧周囲の立場や状況を尊重するマナー・慎み。⑨自らまたは他人の役割を自覚し自覚させる出処進退の決断力。⑩責任と義務と犠牲を負う覚悟を自覚するノブレス・オブリジュー(高潔な責務)であります。「リーダーは、フォロワーの鏡」です。リーダーを選

び支えるフォロワーが無知、無責任、無気力な時、危険なリーダーが現れます。「依存と分配」という構造の中に潜んでいます。フォロワーとしてリーダーを選ぶ時そこには責任が生じ、共に成長する責務を負わなければなりません。どのような共同体でも「選択と責任と連帯」の原理が必要です。これは、人が自由で自立したより良き社会を創りより良き生き方を追究するためのものです。人は皆、お互いを認め合い多様な価値観を認め合うことから始まります。そして会社や地域、国家の中の個人として自らの責任において権利と義務を意識し行動できる機会を活かしたいと思います。

訃報

福島善哉氏

(高10期・昭和33年卒)

平成十五年九月二十六日永眠されました。

同窓会財務副委員長として永きにわたりご尽力下され、多大なご活躍とご功績をのこされました。ここに感謝を申し上げ、ご冥福をお祈り致します。

HOSEI だより

一中・一高・校内情報

中高プラスバンド会 顧問 末益直子

現在、中高プラスバンド会は2001年度から再開した吹奏楽コンクールや定期演奏会を活動の中心として、日々練習に取り組んでいます。また、2004年4月21日の吉祥寺駅サンロードアーケードのオープンニングセレモニー公演などの外部公演を含め、積極的な演奏活動を行っています。よき伝統として受け継がれてきている「音楽と仲間を本気で愛することができよう」という目的の実現は果たされていると思います。



さらに、一人ひとりが責任感を持って演奏し、バンドという集団の中で発揮される豊かな音楽性をいかし、男子校ならではの力強さとやさしさを持った『法政サウンド』を作り上げようと努力し続けています。

部員のスローガンである「1つの輪になる」ということを本来の輪にするためにも、『個人の實力を上げ、本来の意味での曲の完成から得られる充実感・達成感を持たせるために、常にタイムリーな指導を行うこと』を目標に指導をしていきたいと思っています。

2004年度から本格的に始動されたOB会には特に、今後ともプラスバンド会の活性化のためにご支援を頂きたいと切に願っております。

アイスホッケー部 顧問 余宮 賢

今年度、我が法政一高アイスホッケー部は、春の大会ブロック戦を得点差で準優勝という悔しいスタートを切った。昨年度東京都の4位までのし上がってきた我々には不本意な成績といえる。近年、部員数が増えてきたことは嬉しいことであるが、人数が増える

けがや練習場所、時間の不足という問題を同時に抱えることとなる。現に今年度は金銭的問題などもあり、練習時間を十分に確保できなかったとはいえない。いくら練習に工夫を凝らしたところで、氷にのって練習できないければ話にならない。更にスポーツ推薦を行っている他の学校と比べると戦力の差は歴然である。その点を我々はチームワークと極端すぎるといっても過言ではない戦術で補わざる終えなかった。奇跡としかいいようがないが、その作戦は功を奏したといえよう。結果、我々はスポーツ推薦校を近

高校軽音楽部

部長 引間慈朗

法政一高の部活動ある中で、我がクラブは団結力、企画力、音楽に対する愛情において一、二を争う部活動です！

練習日は週二、三回、土曜はミーティング。場所は記念会館地下体育館です。その他バンドごとにスタジオで練習します。

年間の主な活動は以下の通りです。

五月…法政女子高との合同ライブ

七月・八月

…三泊四日の夏合宿
女子高との合同ライブ

十月…文化祭ライブ

三年引退

十二月…クリスマスライブ
これらのライブを成功させるべく、部員はかなりの時間を費やし練習、曲作り、準備に励みます。バンドによって新宿、原宿、国分寺等のライブハウスでも活動しています。

二〇〇三年十月には都立児童会館で開かれた「第十九回ヤングサウンドフェスティバル」で審査委員特別賞を受賞。十二月二三日

(火) 実施されたクリスマスライブには歴代のOB数十名が出演され盛況でした。二月十四日(土) 都立石神井高校簡易ステージにてライブ形式の合同練習を行いました。一、二年の四バンドがはじけ「独特な雰囲気」「面白いバンド」と感想をもらいお互いよい刺激を受けました。二月に Teen's music festival 11歳〜バンド天国一次予選でコピー天賞を受賞し、決勝に進出しました。

新学期も新企画をどんどん入れ張り切っています。今後文化祭や他校との合同ライブなど積極的に活動していきますので、応援よろしくお願いします！

スキー部 部長 引間慈朗

我々法政一高スキー部は今シーズン、インターハイ出場選手が2名、惜しくも全中出場は逃したが東京都の中学で6位入賞の選手を始め、なかなかの好成績を残しました。インターハイ選手の名はアルペン競技の大会競技、もう1名はノルディック競技のクロスカンントリーフリースタイルとクラシカル競技での出場でした。インターハイでの活躍とまではいきませんが、1年生なのでこれからが楽しみです。この二人に刺激されてか、他にも関東大会レベルの実力を持つ選手が

数名います。来シーズンはチームとしても上位を狙えます。

また、競技スキーだけではなく、技術的にもレベルアップをしていくため、春にはバッチテスト(SAJ 級別テスト)の団体受験を行っています。現在は、顧問を含めて1級取得者3名、2級取得者14名、3級取得者18名とほぼ全員が取得しています。

今シーズンは、残すところ春合宿でのバッチテストと南関東ブロックジュニアスキー大会(回転・大回転)の出場、高校では4月末に春季大会(回転・大回転)を残すだけとなりましたが、4月には、また新たな新入部員を迎えて来シーズンに向けてトレーニングを積んでいきますので、よろしくご声援お願いいたします。

(顧問 小林邦久)

ゴルフ部

顧問 石船清治

我ゴルフ部は、昨年度、創立以来の悲願の団体戦関東大会出場を果たした。

高等学校ゴルフ連盟が主催する公式戦は、春季大会・

地区予選(団体戦・個人戦)

に始まり、夏季関東大会決勝大会から緑の甲子園と呼ばれる夏の全国大会までと、新人戦と呼ばれる秋季大会・地区予選(個人戦のみ)に始まり、冬季関東大会決勝大会から春の全国大会へとつながる二大会である。

高校野球の高野連を模倣してできた高ゴ連であるので、公式戦の構成は硬式野球とほぼ同じである。しかしながら、団体戦は春・夏の大会だけなのである。

ゴルフの団体戦は各校四人が出場し、上位三人の合計ストロークで争われる。

一昨年度は、団体戦では都予選で3打差で負け、関東大会に出れずに苦汁をなめたが(個人戦では三人関東大会出場)、昨年度は団体戦で1打という僅差で関東出場(個人戦一人)を果たしたのである。

(顧問 小林邦久)

関東大会まで行くとまだまだ全国大会の壁が厚いことを痛感するが、都大会では5期連続の関東大会出場を果たし、関東大会の常連校になりつつある。また、東京都学校対抗マッチプレー選手権という大会が三年前から始まり、初年度は2ブ

ロック制で行いBブロック優勝、2年目は1ブロック制に変更して3位、昨年度は第7回終了時点で(年間8回の試合で行われ、ポイント制で争われる)2位タイの位置にいる。

本校ゴルフ部は、高校入学後にはじめてゴルフをや

第6回ホームカミングデー

と一中高の現況報告

運営委員 豊田雄大

第6回となりますホームカミングデーを2003年

11月30日、本校記念会館において、旧教職員の皆様および41期(1989年3月卒)から53期(2001年3月卒)の卒業生の皆様をお招きし、開催しました。式典では、同窓会会長からのご挨拶に続き、29期(1977年3月卒)同窓生でオペラ演出家の近江義様からご講演を賜りました。招待者の年齢が若いこともあり、当日は約60名の方々の出席でしたが、式典後の懇親会では、在学当時の話に花が咲き、おおいに盛り上がりしました。

次に2003年度の一

る生徒ばかりだが、日常の練習場での打ち込み、週末のコースでのラウンド研修の積み重ねで短期間で上達しているのである。

心のスポーツといわれるゴルフを通して、マナー・エチケット、自己責任ということを学んでもらいたい。

イスホッケー部も東京都大会で3位に入賞し、関東大会にコマを進めました。さらに、スキー部では、アルペンに1名(大回転)が、クロスカンントリーに1名(フリー15km、クラシカル10km)がインターハイ出場を果たし、健闘しました。

今後とも卒業生の皆様の一中・高へのご理解とご支援を宜しくお願いいたします。

編集後記

前もって花見の日時を決めるなんて無粋なことはいいたしません。

花がやや散り気味の温かな微風の朝フラリと出かけます。

途中、萬屋によりほどほどの般若湯と少しばかりの肴を仕入れます。

あとは桜を眺めつつ枇杷、グビリとヤルだけ。杯を重ねるにつけ、春の陽光が身の回りを包み微風が桜の花弁を杯に運んでくれる。無の境地に浸ること数時間。自然の中で至極の時を過ごす。

：てなことを夢想しながら部屋に閉じこもって編集しています。会報編集者募集。

(手塚)